

イスラエル建国の基い  
— キブツの素顔 —

「荒野を緑の園に！」  
ベングリオン追体験の3ヵ月

2008年7月14日



人工衛星から見ると……

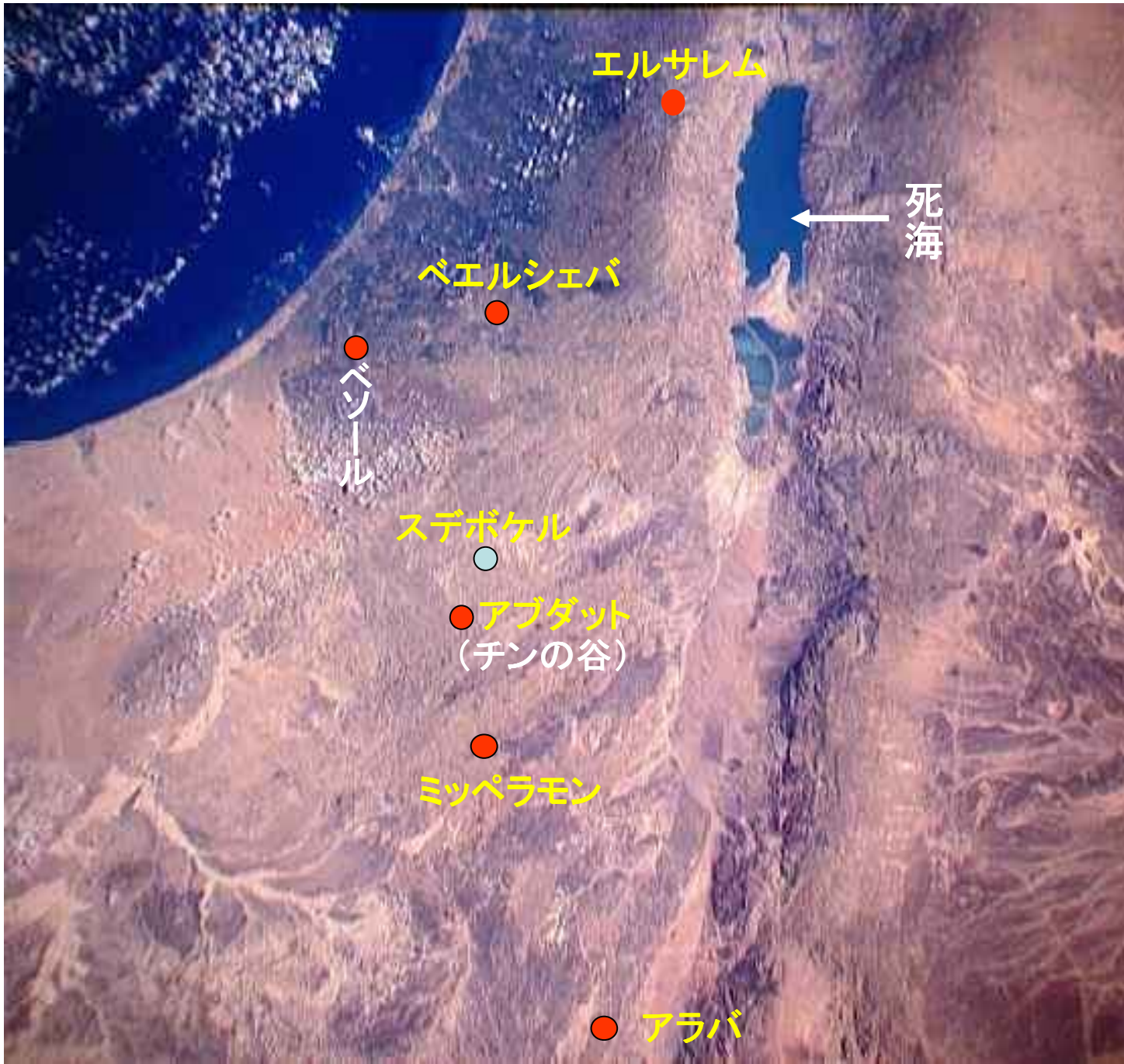


イスラエルの位置











ヘブチバ ●

エルサレム ●

スデー・ボケル ●





















































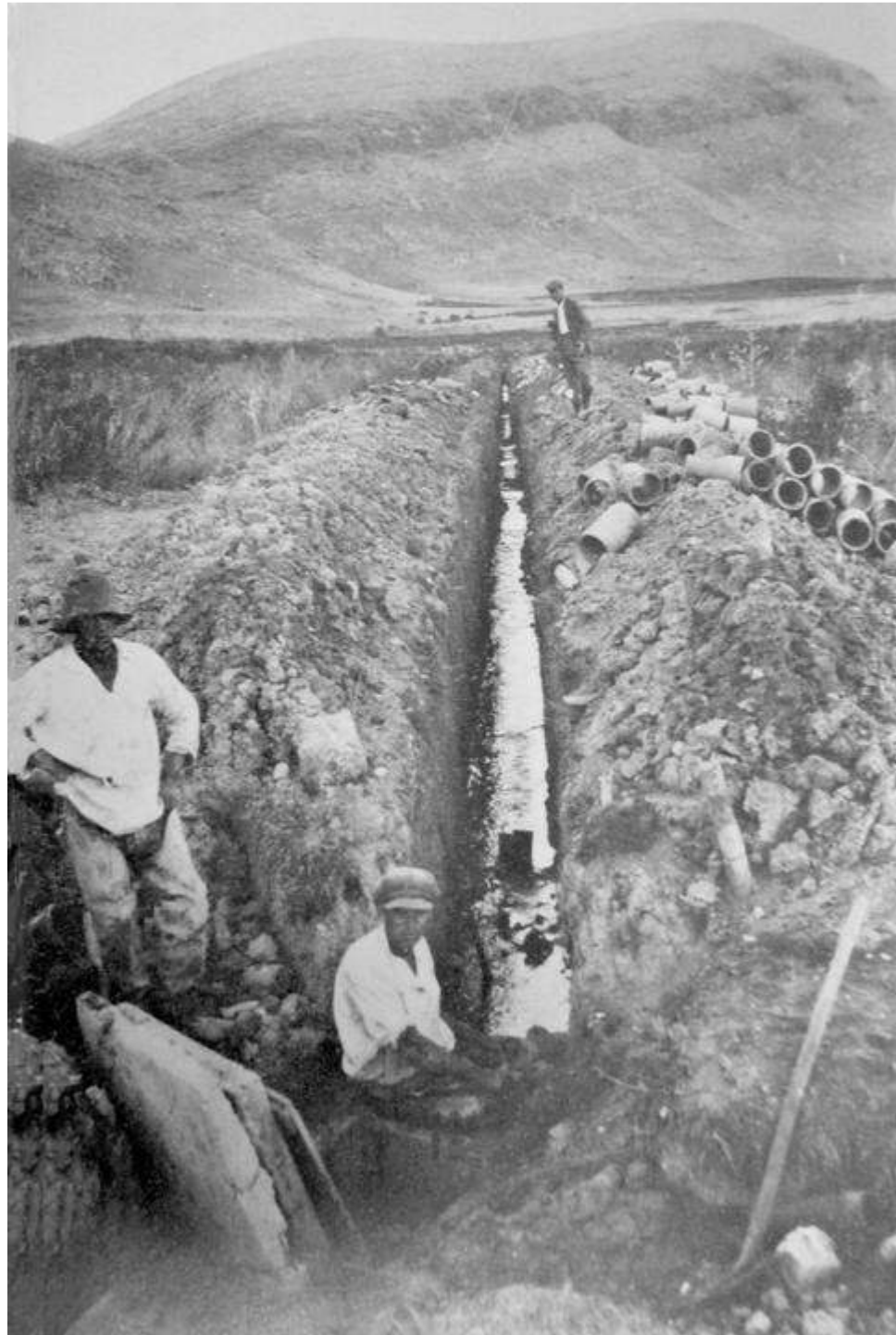


























[1970]











































「もし国家が砂漠を一掃しなければ、砂漠が国家を一掃してしまおうであろう。」

スデー・ボケルにて、1955年



# スデー・ボケルのベングリオン





# スデー・ボケルでのベングリオンの家





## スデー・ボケルにおける日々













## スデー・ボケルにおける日々







ミツペラモン



チンの谷

## 余りの荒野に息を呑む

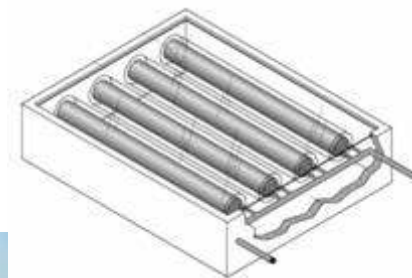


五百mの崖の上にある教育・芸術の街。4500人が居住する





# ネゲブ砂漠における太陽エネルギー発電所



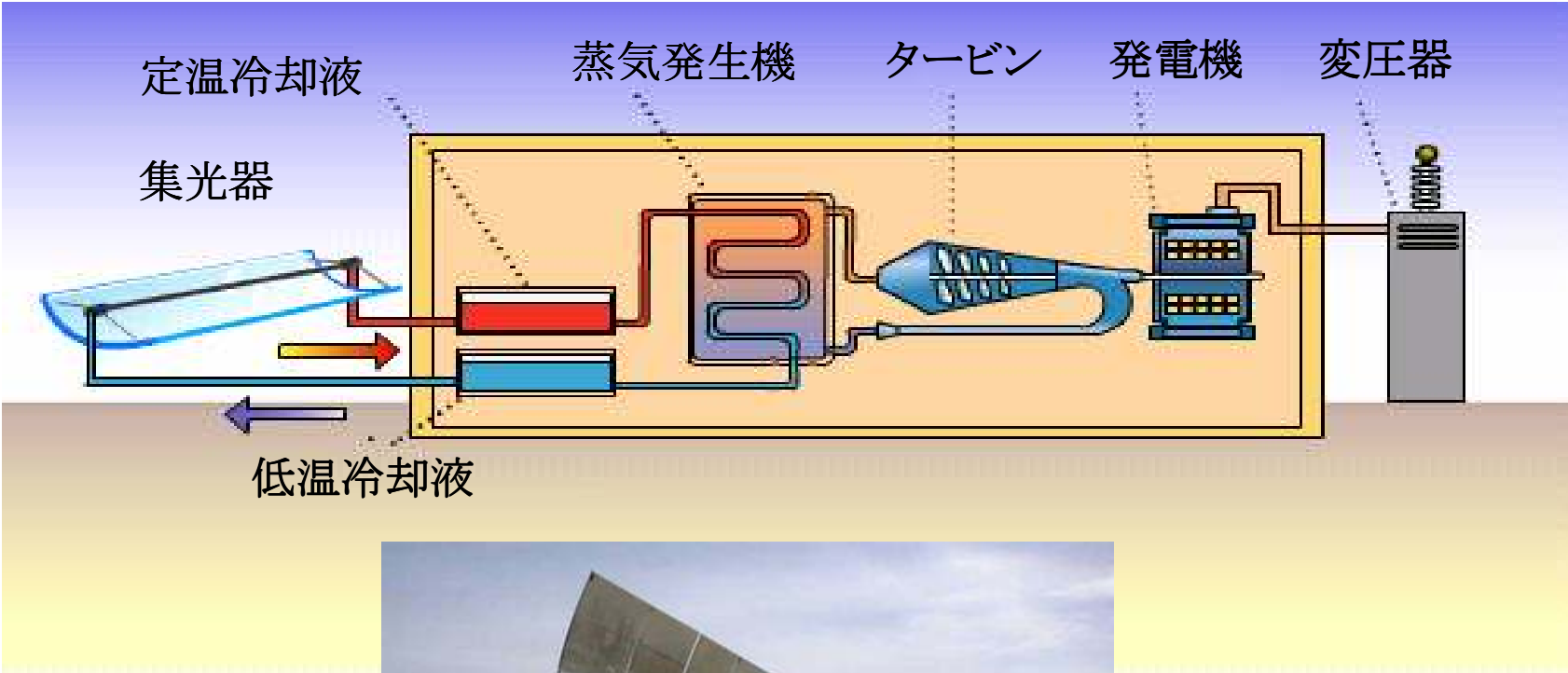


# ネゲブ砂漠における太陽エネルギー発電所





# 太陽光を利用した発電システム



鏡を貼り付けた太陽光集光器



# 太陽の塔



リホボット市(テルアビブ南20km)に施設されている  
凝縮太陽エネルギーによる発電(300万ワット)装置



カリフォルニア州の Mojave 砂漠で稼働中の世界最大の太陽光発電所。イスラエルの技術が生かされている。





「太陽エネルギーに最も恵まれた地域であるネゲブ砂漠では、殆ど曇らず雨も降らず、ほぼ一年中太陽はその力をフルに注いでいる。

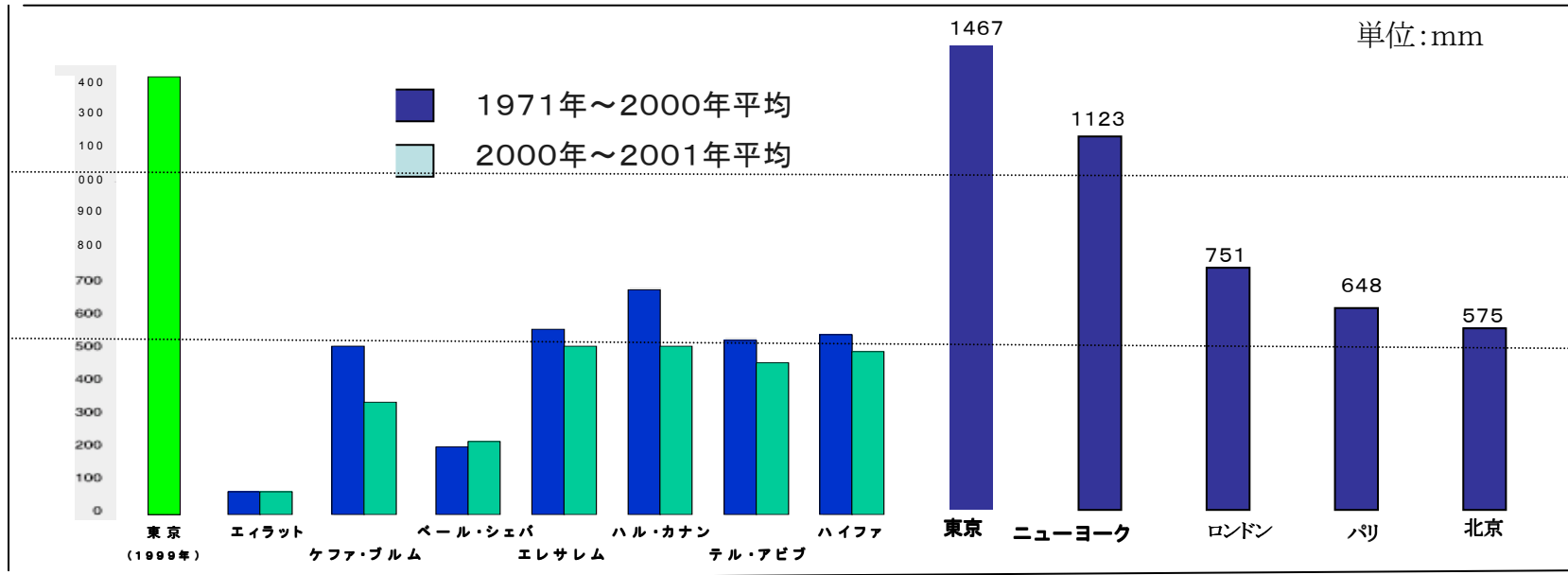
このエネルギーを効果的で、かつダイナミックな電気エネルギーに替えることは可能である。

この偉大なエネルギーを、少しでも吸収する効率的な方法を見つけだし、それを多岐にわたる経済活動に結びつけることは科学者と技術者に課された責務である。」

( Ben-Gurion Looks at the Bible. Southward. 「南へ！」 )



## イスラエルの各都市及び他都市年間降雨量



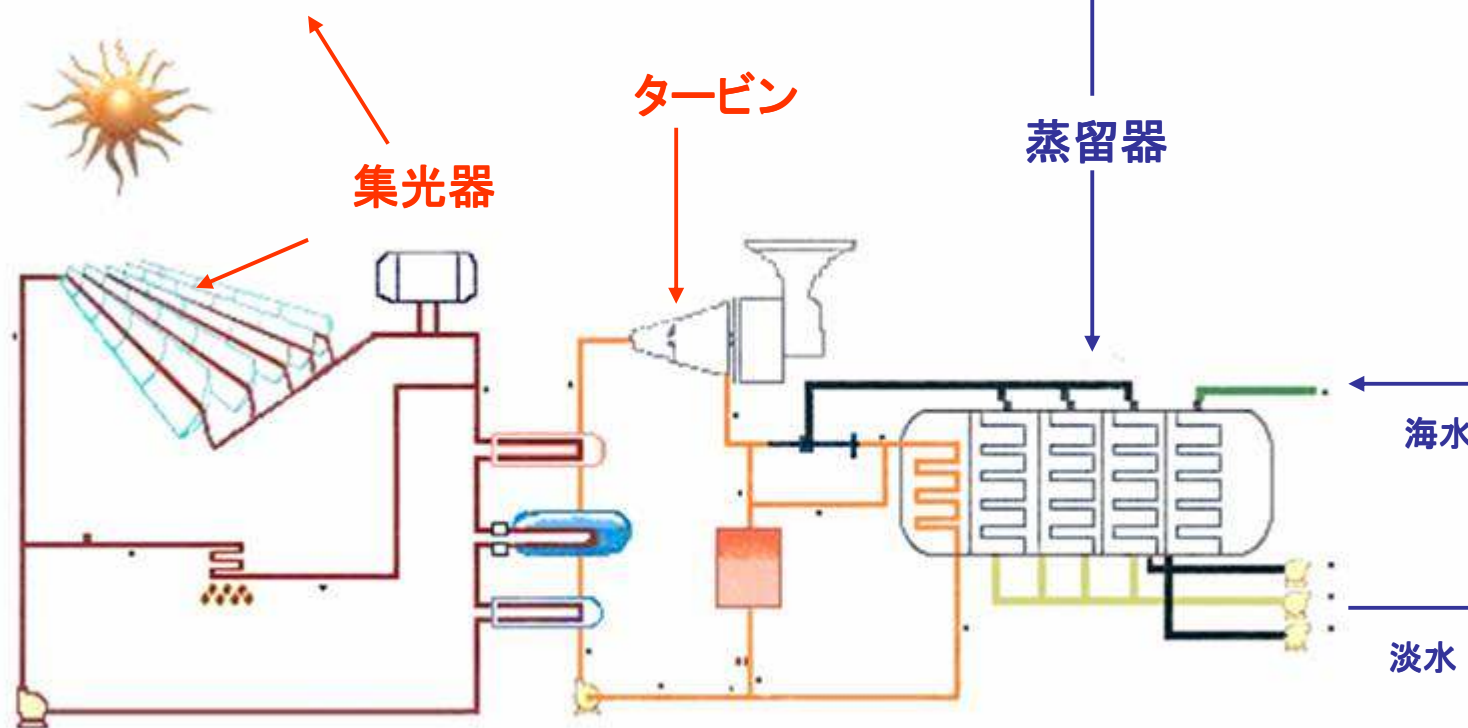
水源



ガリラヤ湖



# 太陽エネルギーで海水の脱塩化





突然 砂漠に巨大なオリーブ畑が出現！



スデー・ボケルのぶどう園



ネゲブ砂漠の南東に位置する  
アラバ近辺の農場

自分の常識が疑わしくなる！

塩分を含む地下水で  
育つネゲブの甘いトマト





# 砂漠に忽然と現われる大貯水池！



ベ  
ン  
グ  
ル

ワジ(涸れ谷)を通った雨水を貯めてできた、巨大な溜め池



これは貯水池というより貯水湖だ！

















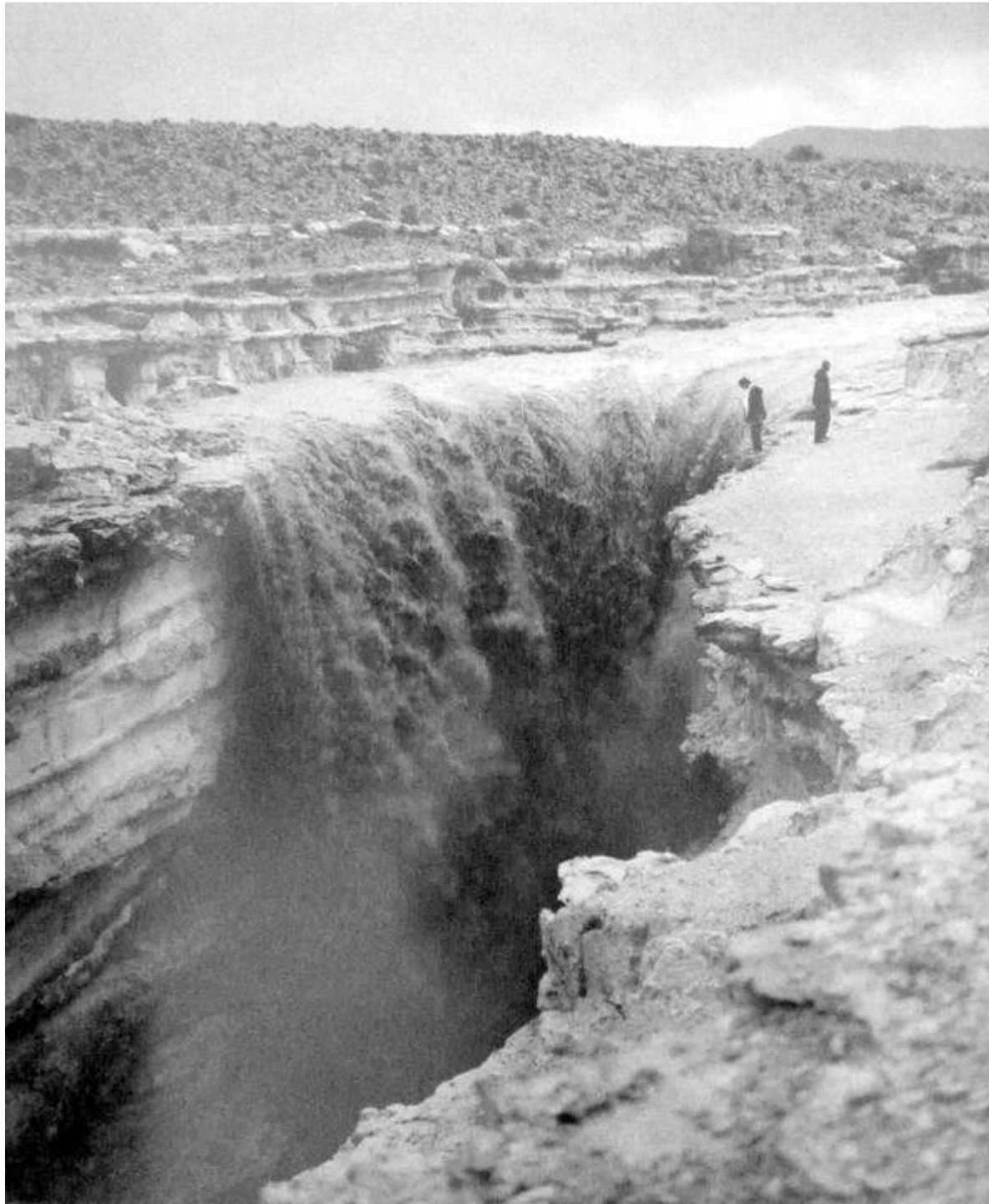












# ベングリオンは言った。

ネゲブで試されるであろう：  
イスラエルの創造力と開拓者魂が、  
ユダヤ人の科学と研究の能力が、  
ユダヤの若者が。  
ネゲブで、イスラエル国民と  
その国家が試されるであろう。

1954



1953年 スデー・ボケルにて



# 砂漠にオリーブの木を植えました！

- 3年前、我々の仲間130名と、ネゲブ砂漠の真ん中にオリーブの苗木300本を植樹。
- 4年後にオリーブの実を収穫できる。
- オリーブは塩分の高い地下水にも耐えられる。
- 我々はユダヤ国民基金(JNF)に献金。基金から15haの土地を50年間貸与。オリーブの木は一度植えると、法律上抜くことは出来ない。









## 太陽エネルギーで海水の脱塩化(2)

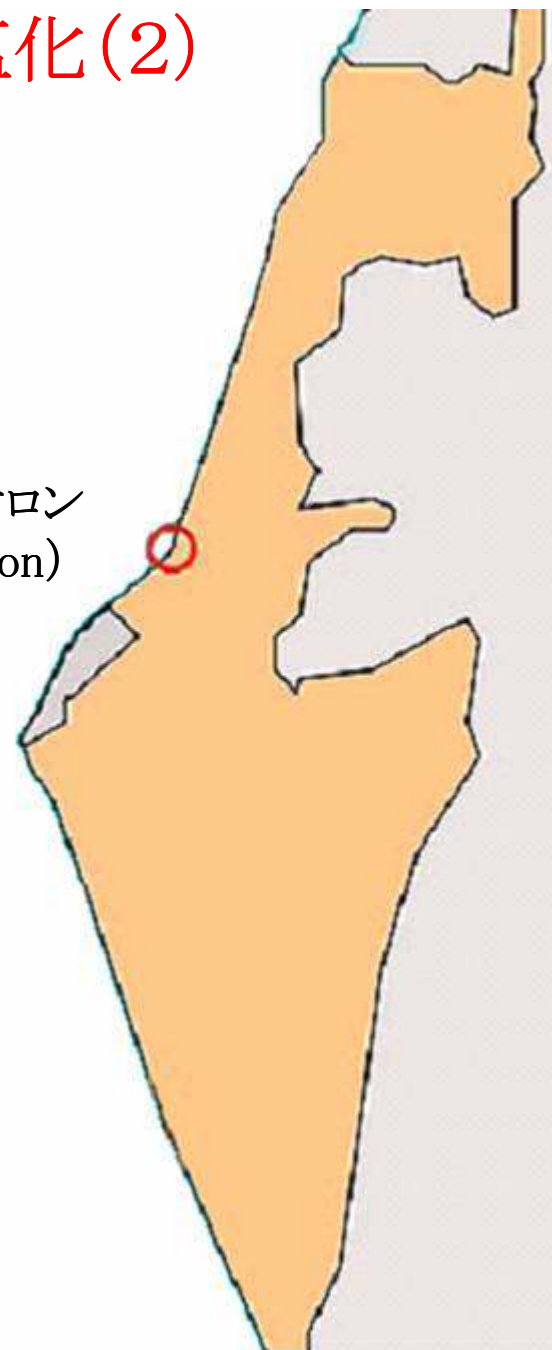


アシュケロンのプラント  
の 上空写真



アシュケロンのプラントの内部

アシュケロン  
(Ashkelon)



# 廃水再利用＝再生水の徹底活用



↑  
← ダン(Dan)地域  
廃水処理施設  
(テル・アビブ近郊)



「使用されることなく海に流れるのに任せてしまっている洪水時の水をダム化すること、そして飲料用、灌漑用、その他の開拓事業用に、水を集めて溜めておく貯水池を建設することは、物理学者、地質学者、化学者、技術者の関心事であるべきだ。」

( Israel: Years of Challenge. P 209 )

砂漠の中にカマボコ型の建物が見えてきた？

→ 養魚場でした！



スデー・ボケルの近くのマシャベール・  
シャデーの養魚場





完全コンピューター  
管理の25棟にお  
よぶ養魚場



「ネゲブの開発の為に、農業、牧畜業  
と共に、漁業も (fishing) おこすのだ」

キブツ・スデーボケル、「南へ！」というテーマの演説

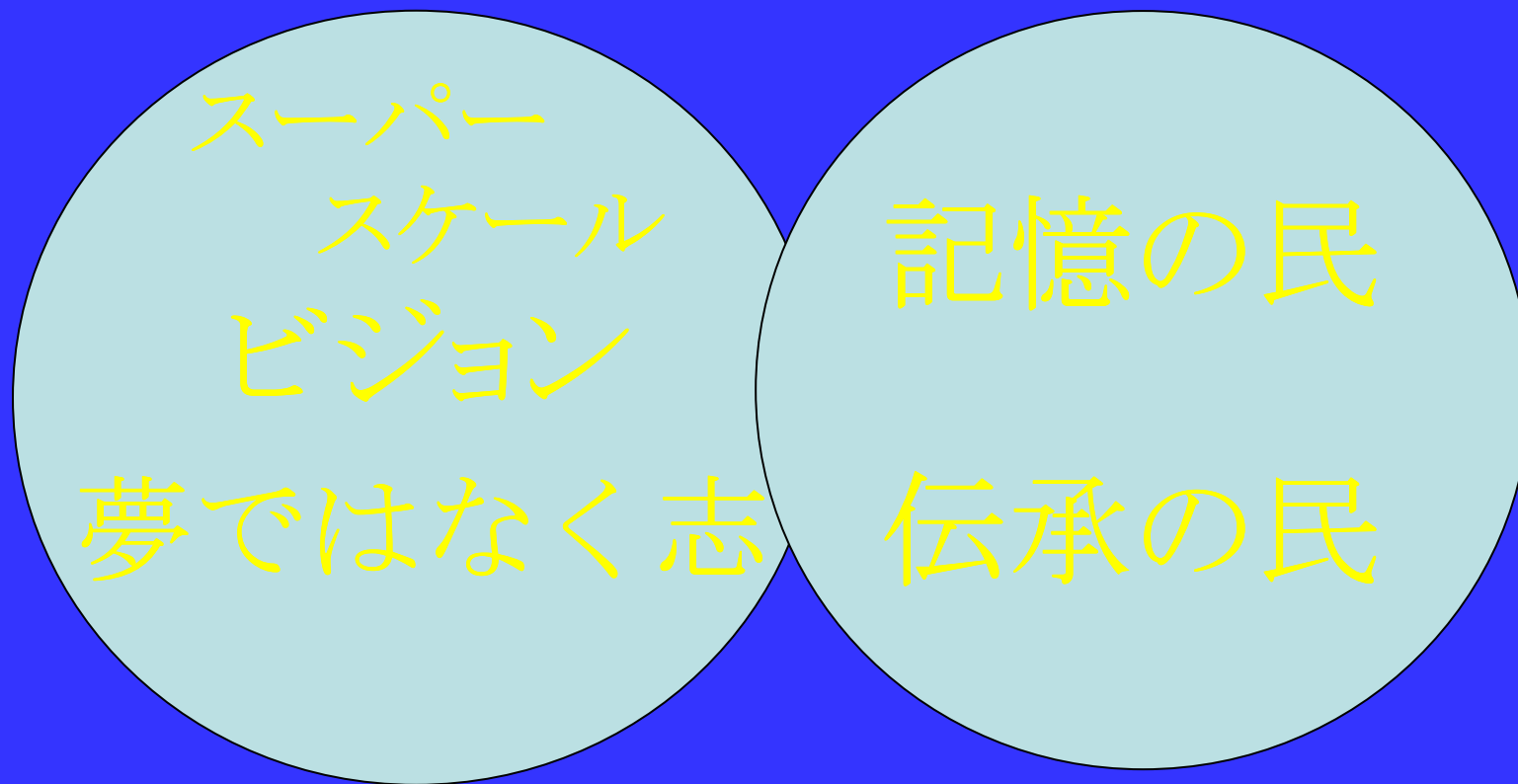
1856年8月



ベングリオンは荒野を開拓し、ネゲブ砂漠に花を咲かせ、農業を起こすという夢を、若い時から持っていた。砂漠はユダヤ人にとり不可欠なものであり、ユダヤ民族のアイデンティティーであると考えていた。

砂漠を「緑の園に！」（Make the desert bloom!）という文言は、イスラエル国家独立宣言の中で使われており（“they made deserts bloom” 1948年）、彼は、建国の時からこの事を国民に向かって訴えていたのである。

# 不屈のユダヤ魂： 大和魂 日本精神



2008年7月14日 大西 俊明